

KDS NEWS

dosokai

2021 no.188



第29回 桑沢賞受賞者決定と動画公開のお知らせ

第29回 桑沢賞表彰式は関係者のみで執り行い
その様子を後日動画で公開いたします。



桑沢賞本賞 阿部真由美さん



桑沢賞本賞 佐々木真也さん



桑沢デザイン研究所同窓生の皆さまへ

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、準備を進めていた第28回桑沢賞や夏期デザイン講座の中止を余儀なくされるなど、同窓会の活動は大きく制限されました。

その後も長引くコロナ禍のなか、同窓会では、理事・委員会をオンライン開催するなど、工夫と模索を続けながら、現状に即して「今できること」を実現すべく、検討を重ねてまいりました。

その結果、今年度の桑沢賞は、授賞式は関係者のみで執り行い、その様子を後日動画で公開することといたしました。

同窓会の会員が一堂に会す機会となる桑沢賞表彰式に皆さまをご招待できないのは大変残念ではございますが、ぜひ動画公開をお待ちいただければ幸いに存じます。

なかなか皆さまとの交流の場を作ることが難しい昨今ではありますが、今後も一層、オンラインを活用した企画や情報発信などに力を入れ、同窓会を活性化させていきたいと考えています。

引き続き、皆さまからの情報をお待ちしております。



2021年5月吉日

桑沢デザイン研究所同窓会

会長 八十島 博明

Kuwasawa Award 2021

2021年 第29回桑沢賞受賞者決定と動画公開のお知らせ

このたび桑沢デザイン研究所同窓会は、厳正な審査のもと、第29回桑沢賞の受賞者を以下の通り決定いたしましたので、お知らせいたします。

「桑沢賞」本賞につきましては自薦・他薦による応募を対象に、桑沢賞選考委員会〔審査員：下川一哉氏（デザインプロデューサー・元日経デザイン編集長）、中川直樹氏（アートディレクター）、眞田岳彦さん（1

部59D研C 衣服造形家）、横森美奈子さん（1部44L2A ファッションデザイナー）、高橋正実さん（1部H08L研GD クリエイティブディレクター）にて選考いたしました。

また特別賞、スピリット賞については、同窓会理事・委員会にて選考。桑沢新人賞は本年の卒業生作品展「桑沢2021」での発表作品を対象に、同窓会理事・委員会にて選考いたしました。

第29回桑沢賞 各賞受賞者

桑沢賞(本賞)

阿部真由美 氏（イラストレーター）
佐々木真也 氏（プロダクトデザイナー）

桑沢特別賞

浅葉克己 氏（アートディレクター）
井上耕一 氏（デザインリサーチャー）

桑沢スピリット賞

浜田桂子 氏（絵本作家）

桑沢新人賞

郭玖秀（3A・浅葉克己ゼミ）
中里友美（3B・森井ユカゼミ）
児玉篤司（3B・工藤強勝ゼミ）
浮ヶ谷真悠（3F・藤田恭一ゼミ）



桑沢賞選考会



新人賞選考会

◎動画公開は2021年6月中旬頃の予定です。 URL: www.kds-doso.net

活動報告・会計報告 (速報)

2020 (令和2) 年度 活動報告

- 5 月 1 日 (金) 同窓会ニュース 187 号発行
- 5 月 16 日 (土) 同窓会支部合同会議催、第 60 回同窓会定期総会
および第 28 回桑沢賞表彰式 (コロナ禍により開催中止)
- 8 月 11 日 (火) ~ 21 日 (金) 第 29 回 夏期デザイン講座
(コロナ禍により開催中止)
- 12 月 11 日 (金) JDN (ジャパン・デザイン・ネット) 取材対応

- 2021 年
- 2 月 26 日 (金) ~ 2 月 28 日 (日) 卒業生作品展「桑沢 2021」に協賛
 - 3 月 13 日 (土) 第 29 回桑沢賞選考会 (於: 桑沢校舎)
 - 3 月 18 日 (木) 桑沢デザイン研究所卒業式に出席
 - 4 月 10 日 (土) 第 29 回桑沢新人賞選考会 (於: 東武ホテル)

- 理事・委員会 8 回
- 夏期デザイン講座実行委員会 1 回
- 桑沢賞実行委員会 2 回
- 同窓会ホームページ・SNS 更新 随時
- 卒業アルバム制作に協賛



オンライン理事・委員会 の様子

2020 (令和2) 年度 収支・決算 (単位: 円)

収入の部	科目	2021年度予算	2020年度予算	2020年度会計	増減
1.	前期繰越金	2,116,158	1,798,241	1,798,241	0
収入の部	財産繰入	4,169,749	417,480	417,480	0
	終身会費	9,870,000	10,740,000	10,680,000	△ 60,000
	受取利息	40	40	65	25
	事務受託費	1,600,000	1,600,000	0	△ 1,600,000
	雑収入	10,000	10,000	0	△ 10,000
	合計	17,765,947	14,565,761	12,895,786	△ 1,669,975
2.	夏期講座収入	3,300,000	3,300,000	0	△ 3,300,000
事業収入	桑沢デザイン塾収入	50,000	50,000	0	△ 50,000
	受取利息	10	10	16	6
	合計	3,350,010	3,350,010	16	△ 3,349,994
3.	寄付金繰入	5,000,000	4,500,000	4,500,000	0
桑沢賞	受取利息	10	10	37	27
収入	合計	5,000,010	4,500,010	4,500,037	27

支出の部	科目	2021年度予算	2020年度予算	2020年度会計	増減
1.	広報費	2,000,000	1,900,000	1,825,252	△ 74,748
支出の部	ホームページ運営費	1,000,000	400,000	189,640	△ 210,360
	通信費	130,000	130,000	106,131	△ 23,869
	会議費	300,000	200,000	28,660	△ 171,340
	企画費	400,000	400,000	0	△ 400,000
	事務費	3,150,000	3,150,000	3,069,586	△ 80,414
	事務用品費	600,000	250,000	54,220	△ 195,780
	総会費	1,000,000	1,000,000	0	△ 1,000,000
	他団体交際費	1,000,000	1,000,000	331,000	△ 669,000
	支部費	200,000	200,000	35,956	△ 164,044
	リース料その他	130,000	130,000	118,800	△ 11,200
	雑費	40,000	30,000	20,383	△ 9,617
	桑沢賞寄付金	5,000,000	4,500,000	5,000,000	500,000
	予備費	200,000	200,000	0	△ 200,000
	基本財産繰入	2,500,000	1,000,000	0	△ 1,000,000
	次期繰越金	115,947	75,761	2,116,158	2,040,397
	合計	17,765,947	14,565,761	12,895,786	△ 1,669,975
2.	夏期講座経費	1,700,000	1,700,000	86,498	△ 1,613,502
事業支出	桑沢デザイン塾経費	25,000	25,000	0	△ 25,000
	事務委託費	1,600,000	1,600,000	0	△ 1,600,000
	財産繰入	25,010	25,010	0	△ 25,010
	合計	3,350,010	3,350,010	86,498	△ 3,263,512
3.	諸経費	5,000,000	4,500,000	330,288	△ 4,169,712
桑沢賞	財産繰入	10	10	4,169,749	4,169,739
支出	合計	5,000,010	4,500,010	4,500,037	27

同窓会役員一覧

- 会長 八十島博明
- 副会長 田辺千晶 森井久寿生
- 理事 (会長・副会長を含む)
- 赤羽なつみ 稲村彰保 日下部昌子
 - 田辺千晶 野口英明 細山歩
 - 本田理恵 宮澤太地 森井久寿生
 - 八十島博明 飯内雄美 山越史洋
 - 横森美奈子
- 監事 大豆生田守 大槻高康

- 特別委員 近藤信一 中西元男 薬師神親彦 山田脩二
- 委員 新日恵 石坂昌也 小川航司
- 尾形優子 (北海道支部長) 片岡治 (関西支部長)
- 後藤和樹 雑賀吉人 澤田昂之介 勝呂洋介
- 滝口未来 田代卓 高橋祐子 富野隆平
- 中村哲夫 野田博生 (九州支部長) 畑秀樹
- 林皇貴 平林千明 三上司
- 宮畑周平 (中・四国支部長)
- 森井由佳 矢島裕丈 矢内原充志
- 由良万紀子 吉田仁

- 名誉会長 工藤強勝 (研究所所長)
- 顧問 浅葉克己 (元所長)
- 市瀬昌昭 (元所長)
- 原美夫 (元同窓会副会長)
- 相談役 遠藤毅 (研究所事務部長)
- 事務局 伊草喜久江

2022 年度 専門学校桑沢デザイン研究所 推薦入学 (同窓会推薦) 募集のお知らせ

昨年度に引き続き、今年度も専門学校桑沢デザイン研究所より、同窓会に推薦入学募集の要請がありました。

つきましては、「自分の子供、孫を是非、桑沢に入学させたい」と希望される方は、9 月末までに同窓会事務局にご連絡ください。

入学関係書類をお送りいたします。

●募集人員: 若干名 (総合デザイン科・昼間部/デザイン専攻科・夜間部) 推薦入学の試験は 10 月 17 日 (日) を予定しています。

2019年度 卒業生作品展 桑沢2020 ×シブセイ

「デザインは死なない。 New 羅針盤」が 西武百貨店渋谷店で開催



2019年度卒業生の作品を展示する「卒業生作品展 桑沢2020 × シブセイ デザインは死なない。New 羅針盤」が2020年11月3日から23日まで、西武百貨店渋谷店で開催されました。

昨年2月末に開催予定だった卒業生作品展「桑沢2020」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で展示準備の最中に中止が決まり、制作された作品は日の目を見ることがなくなりました。今回、アートディレクター浅葉克己さん（1部34L基A 前研究所所長）監修の下、同展に出展予定だった卒業生35人の作品を同店で展示することとなったものです。

期間中はA館1階～4階、B館7階のプロモーションスペース、B館5階連絡通路などに作品を展示。卒業生作品展で上映予定だったイメージムービーも、今回の展示のために再編集したバージョンが館内で流されました。

11月11日には、B館5階プロモーションスペースで浅葉さんと、東京パラリンピックの公式アートポスターなどを手掛けたデザインユニットGOO CHOKI PAR（ゲー・チョキ・パー）が、卓球をしながらトークをする企画も行われ、イベントの様子はYouTubeでも配信されました。

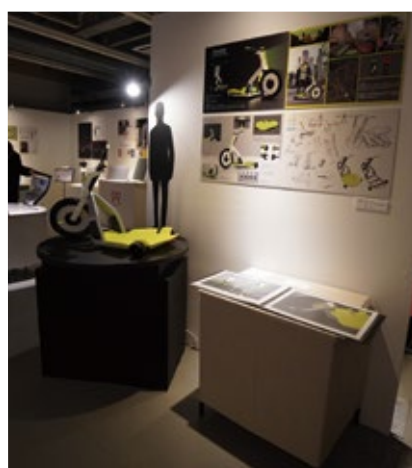
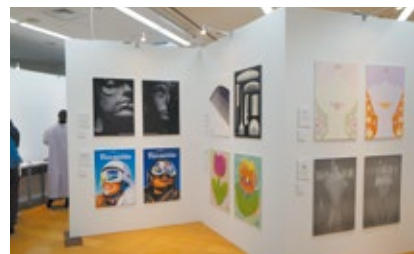
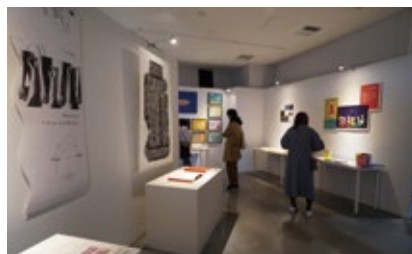
写真：特設サイト「デザインは死なない。New 羅針盤」より転載
URL：www.kds.ac.jp/seibushibuya2020/





2020 年度 卒業生作品展 精魂こめた作品が勢ぞろい!

「桑沢 2021」が 開催されました

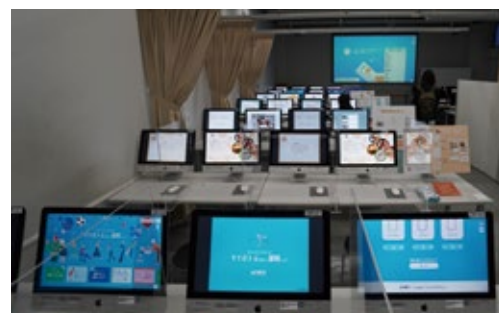


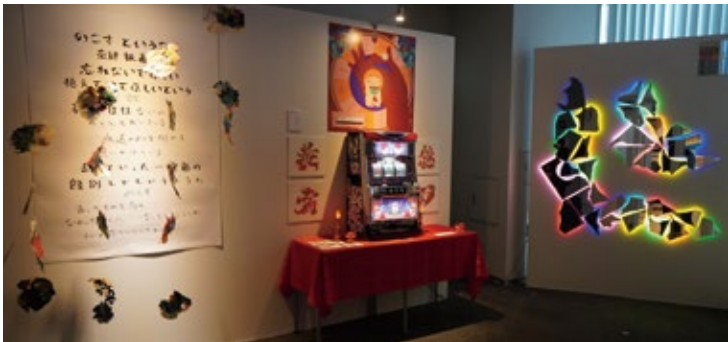
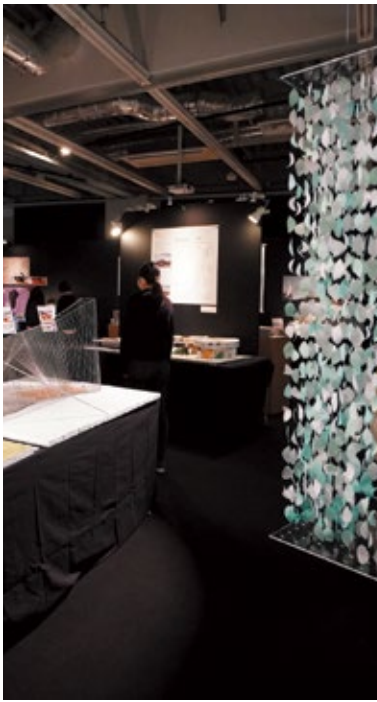
2020年度の桑沢卒業生による作品展「桑沢2021」が、2021年2月26日（金）～28日（日）の3日間、桑沢デザイン研究所の校舎の全フロアを使って開催されました。会場には、総合デザイン科(昼間部)の各ゼミの発表展示から、デザイン専攻科(夜間部)の各コースの作品まで、各フロアに所狭しと展示されました。また1階のホールでは昼間部・夜間部のファッションデザインの学生によるファッションショーも行われ、華やかな作品が発表されました。

2020年の卒展はコロナが第一波の猛威を振るい、搬入日当日に即刻自宅待機となりましたが、今年2021年は事前のネット予約が必要ではあったものの、無事に桑沢での卒展を開催することができました。このときまでの1年間のほとんどの授業がリモートであったため、手探りでたどり着いた展示です。リモート授業での卒業制作は、実践的な指導が難しくなった反面、遠隔地に住む学生にとっては、通学に費やす時間を製作にあてることができ、じっくりと手をかけることができたという一面もありました。

現在全ての作品が特設サイトで公開されていますので、希望に溢れた新たな表現の数々をぜひご覧ください。

URL: www.sotsuten-archive.kds.ac.jp/2021/

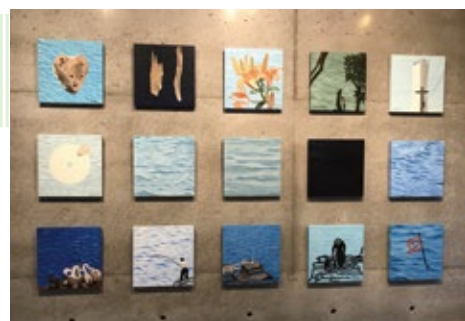




小渕ももさん作品展 「misaki blue」

2020年9月7日～10月13日、羽根木インターナショナルガーデン dear DONUTSにて、小渕ももさん（1部38L3PK）作品展「misaki blue」が開催されました。

2008年夏より神奈川県三浦半島に移住した作者が、近くの海岸を巡りスケッチした風景が misaki blue です。油壺湾をみおろす海藻のような木、浜諸磯に咲くタンポポ、螺旋の柱の貝殻など、遠くから潮騒が聞こえてくるようです。



手島加江さん個展 「やさしい草花」

2020年10月19日～24日、SPACE YUIにて、手島加江さん（1部54L研PK）個展「やさしい草花」が開催されました。草花は私にとってひと息つける場所でもあるという作者の描く草花は、ただやさしいだけではなく、秘めた強さを持っています。見る人の気持ちをやさしく包みこんでくれます。

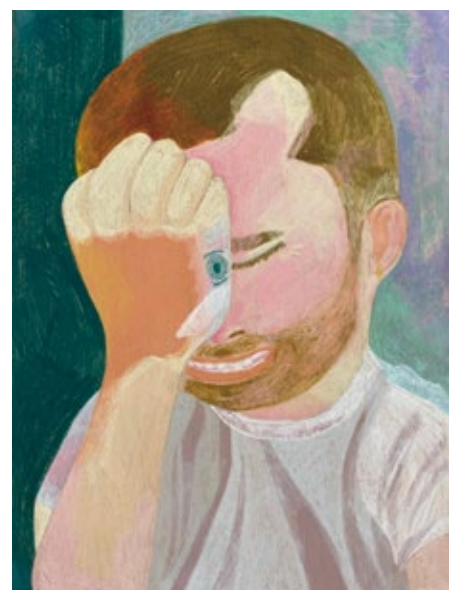


古武家賢太郎さん個展 「The Other Side of Hope / その向こう側へ」

2020年9月4日～10月3日、東京・神宮前のMAHO KUBOTA GALLERYにて古武家賢太郎さん（1部H09L研GD）の新作ペインティングによる個展「The Other Side of Hope / その向こう側へ」が開催されました。

桜の木などの自然木を用いた支持体にて色鉛筆の線を塗り重ねることにより生まれる躍動感と透明感を併せ持つ色面。これらをパッチワークのようにつなぎ、重ね、広げていくことで古武家賢太郎の絵画の独特な世界観が出現します。

ここ数年はロンドンを制作と生活の拠点としてきた古武家さんですが、誰もが予想していなかった2020年の世界的なパンデミックの混乱の中、広島に帰郷したまま個展に向けてひたすら制作に励む日々が続きました。冬から春、春から初夏にかけて生みだされた一連のペインティングには古武家作品に特徴的な寓話性やリリズムに加え、対象を見つめるアーティストの静かで激しい眼差しの気配が色濃く宿っています。描かれる世界は、ユートピアでもディストピアでもない、浅い夢の中のように並行世界のような光景。絵の中の対象と作者の眼差しの間にははっきりとした距離がありつつ、その距離へのものさしを測りかねているように感じる個展でした。



白根ゆたんぽさん イラストを書き下ろし JR 東日本「山手線 Ver.2020by 東京感動線」中ぶり

2020年2月、JR東日本が新たな乗車体験の提供と車両メディアの新たな価値創造を目指して期間限定で実施した、「ちょっとだけ未来の山手線」が都内を走行。山手線30番目の新駅となる高輪ゲートウェイ駅開業を間近に控え、「過去から未来にむけた、東京のまちと山手線、そこに集う人々」をテーマに、「山手線ラジオ」や「山手線AR」「電子ペーパー中ぶり」など6つのコンテンツが実施されました。

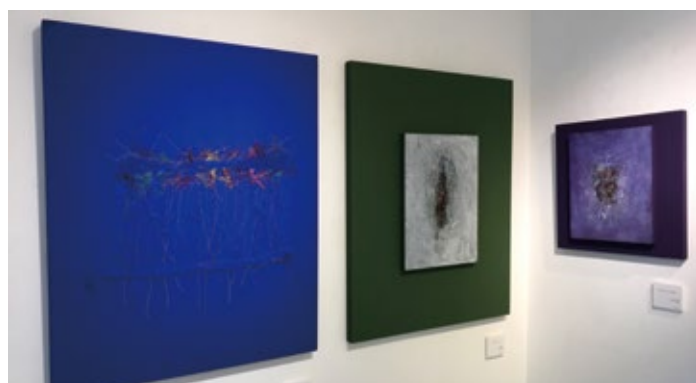
車内の中ぶりには各時代の特徴的なニュースについて、白根ゆたんぽさん（1部89L研GD）がイラストを描き下ろし。時代毎に移り変わるファッションの変遷が表現されました。



野田博生さん企画展 「Abstraction」

野田博生さん（2部56VD1A・現九州支部長）が、2020年10月5日～10日に東京銀座のギャラリー ART POINTの企画によるグループ展「Abstraction」に参加し、作品を発表しました。

マットな背景に凹凸のあるベースに、光沢のあるカラフルなシルクの糸を重ね合わせた美しい彩りの作品は、人それぞれの生き方や個性を表現したものとのこと。野田さんは、人と人が織りなす世界において、「ささやき、希望、愛、忍耐、夢…」を心象風景として制作しています」と語っています。

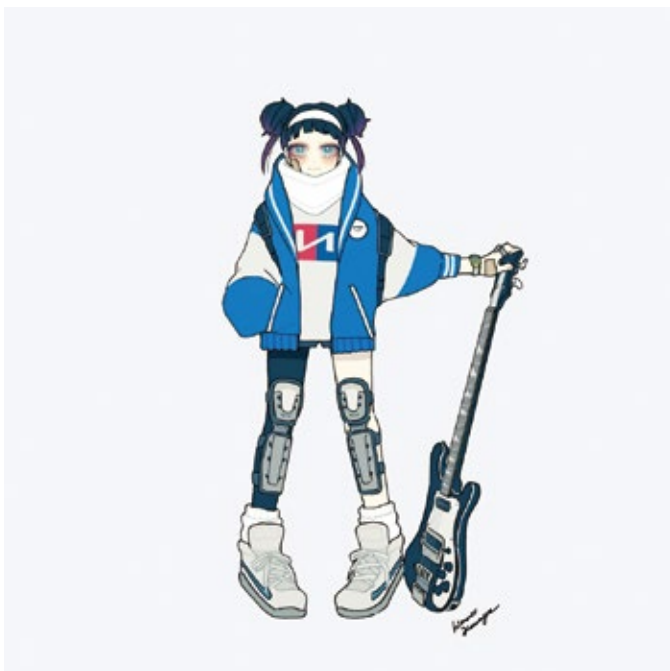


hima://KAWAGOE さん 「LAST EXHIBITION & ラスト画集」

2020年8月12日に急逝されたイラストレーター hima:// KAWAGOE さん（川越夏希・2部H23VD2A）のLAST EXHIBITIONが2020年8月21日～9月2日に新宿眼科画廊で開催されました。11月から12月には、生前親交のあったイラストレーターや作家達により発足した「hima:// KAWAGOE ラスト画集制作プロジェクト」がクラウドファンディングサービス「CAMPFIRE」で開催。2007年から2020年まで14年間の作品を納めた画集が制作されています。

ファンを魅了したに違いない大きく潤んだ瞳をもつ少女はどこに行きたかったのか？ その瞳は作家自身を投影していたようにも感じます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

URL: camp-fire.jp/projects/view/349206/



「AMBIENT FORMS-All's right with the world」



内田デザイン研究所が、2020年11月9日～14日、銀座の「巷房」で6年ぶりに展覧会を開催しました。

「巷房」は昭和初期に高級アパートとして建てられた奥野ビルの一画にあり、内田繁さん（1部40LC/2016年に逝去）が生前10年にわたり作品を発表し続けた、趣のあるギャラリーです。

本展では、スイスの家具メーカー

woggのためにデザインした家具のほか、スペインの照明メーカーで開発を進めているフロアランプ「テンダリー」のリ・デザインモックアップ、スイスの時計メーカー Pierre Junod にデザインした腕時計のアップデート版が発表されました。内田さん亡き後もしっかり内田イズムを継承する内田デザイン研究所の「いま」を垣間見ることができました。



Photo by Satoshi Asakawa



Photo by Stefan Zimmermann

スイス製。50個限定で現在販売中
URL: www.uchida-design.jp/

銀座に吉岡徳仁さんのパブリックアートが2つ登場！

アーティスト、デザイナーの吉岡徳仁さん（1部62L研ID）による作品が2020年に2つ、東京・銀座に登場しました。

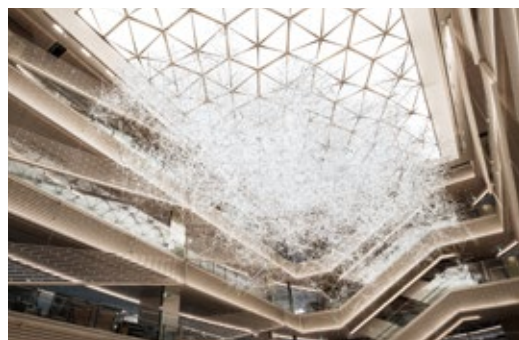
1つは、銀座の商業施設「GINZA SIX」の中央吹き抜け空間に期間限定で展示されたインスタレーション《Prismatic Cloud》（展示期間：2020年2月27日～2021年2月23日）。巨大な雲をイメージした光の彫刻で、約400平米の中央吹き抜け空間に雲のような光の造形を生み出すというものでした。

もう1つは、2020年10月、東京メトロ銀座線銀座駅のリニューアルの目玉として設置されたアート作品。銀座駅のデザインコンセプト「憧れの街」「人と街をつなぐ光のゲートアベニュー」を象徴する新たな銀座のシンボルとして半永久

的に設置されます。

《光の結晶》と題されたこの作品は、吉岡さんにとって初となる駅のパブリックアート。その名の通り、光そのものを作品にしたような本作は、オリジナルデザインのクリスタルガラスを636個も使用した大作。吉岡さんは「地球に生きるものとして世界がひとつになる」という平和への願いを込めたといいます。さらに「銀座は日本を代表する街。コロナが落ち着いた頃に、世界から新しい銀座駅に来てくれることを楽しみにしています」と語っています。

写真提供：吉岡徳仁デザイン事務所



《Prismatic Cloud》もう見られないのが残念！



《光の結晶》東京メトロ銀座駅 B6 出口付近に設置

山田脩二さん個展『日本村』 1960-2020 写真プリントと印刷

山田脩二さん（1部34L研A）が2020年11月、写真集「新版『日本村』1960-2020」を上梓し、その出版を記念する写真展が、2020年12月11日～2021年1月24日、東神田のkanzan galleryで開かれました。

会場には、60年にわたる活動の集大成としての写真集から選りすぐりの「時代と絡み合いながら、土の匂いのする」力強い作品が並びました。

当展には山田さんのアイデアで「写真プリントと印刷」というサブタイトルがついており、山田さんの手焼きプリント、ネガからのラムダプリント、写真集の印刷の過程で制作された色校正に加え、雑誌などの印刷物も展示されました。

また、会場ではこの展示のために行ったというインタビューの映像が上映され、コロナ禍で上京が叶わなかった山田さんとの対面も果たせました。



オノデラユキさん 2つの個展「FROM Where」「TO Where」

世界的に活躍する写真家オノデラユキさん（1部58D研A）の個展が2020年秋、2つのギャラリーの共催で同時開催されました。

銀座のザ・ギンザスペースで2020年9月8日～11月29日に開かれた「FROM Where」では、オノデラさんの初期の代表作「古着のポートレート」シリーズが

四半世紀ぶりに一堂に展示され、時を経ても色あせないタイムレスな価値をもつ作品たちが圧倒的な存在感を放っていました。

また9月8日～10月10日、新宿のユミコチバアソシエイツでは「TO Where」と題し、オノデラさんの最新作が紹介されました。



YUMIKO CHIBA ASSOCIATES サイトより転載





©Fujiko Pro/2020 STAND BY ME Doraemon 2 Film Partners

3DCG アニメーション 「STAND BY ME ドラえもん 2」大好評！

6年前に大ヒットした3DCGアニメ「STAND BY ME ドラえもん」に続き、2020年11月に全国ロードショー公開された「STAND BY ME ドラえもん2」は、前作と同様、監督に八木竜一さん（2部61VD2B）、脚本・共同監督に山崎貴さんのメンバーで制作され今回も大ヒットに。今作では「懐かしくて新しいものを

映画『STAND BY ME ドラえもん2』
Blu-ray&DVD 絶賛発売中

作る」という前作が掲げていたスローガンをさらに進化させました。

八木監督は公式サイトにて「前作ではドラえもんのひみつ道具を3DCGに起こして表現したら、絶対楽しいものになるという思いで作りました。今回の映画では、それをさらにスケールアップさせ、前回出せなかった新しいひみつ道具、前回大変すぎて出来なかった場所など、世界を拡げて皆さんにお届けします。」とコメントしています。

荷物と一緒に想いが届く「母からの仕送りシール」が商品化 東京ミッドタウンアワードの2017年度準グランプリ作品

デザインとアートのコンペティション「TOKYO MIDTOWN AWARD」で、山中桃子さん（1部H23VD3B）が2017年度に受賞した作品「母からの仕送りシール」が2020年12月に商品化されました。

この作品は「TOKYO」がテーマだった2017年度の同コンペで、1,162作品の応募から準グランプリに輝きました。「割れ物注意」などのステッカーのようで、よく見ると地方で暮らす母親から我が子

を気遣う様々なメッセージが書かれている作品。遠い故郷から仕送りだけでなく想いも運ぶ心温まるシールです。



東京新聞で連載 『高橋正実の新聞デザイン思考』

高橋正実さん（1部H8L研GD）が、2020年8月から12月まで、東京新聞で月1回『高橋正実の新聞デザイン思考』を連載しました。この連載は、「社会のデザイン」に取り組む高橋さんが、考える題材に過去の新聞記事を使い、「過去・現在・未来」を考察してつなげ、社会の問題を解決する未来を探る「新聞デザイン思考」という試みでした。

高橋さんがこれまで世の中のためにと数多く生み出してきた、現在日常で一般的によく聞くようになった多くの言葉や概念「社会の問題（課題）解決」「ヒト・コト・モノ」「モノからコトへ」「ブランドストーリー」「地域ブランド」などの視点から、毎月様々なテーマで展開しました。



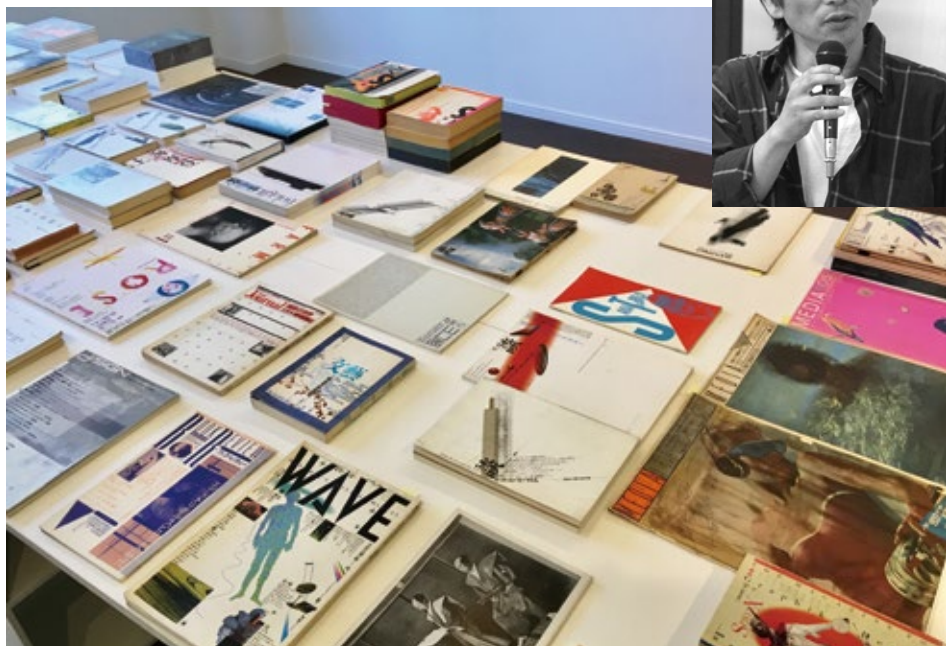
これまで掲載された記事は、高橋さんの会社 MASAMI DESIGN のHP、NEWS欄でご覧いただけます。

URL: masamidesign.blog.shinobi.jp/



戸田ツトムさん 追悼の展覧会 「戸田ツトムのブックデザイン展」

2003年の桑沢デザイン塾での
戸田ツトムさん



写真提供：Book & Design

2020年7月にご逝去されたデザイナー、戸田ツトムさん（1部48L3GD）の追悼イベント「戸田ツトムのブックデザイン展」が2020年11月21日～12月6日（期間中の土日6日間）、浅草Book & Designにて開催されました。

会場には戸田事務所設立当時一緒に仕事をしたデザイナー松田行正氏セレクトの戸田さんデザインの雑誌・書籍約120点が所狭しと並べられました。また、オンライントークイベントも行われ、松田氏に加え桑沢在学時代に講師であった松岡正剛氏、デザインジャーナリストの白

田捷治氏などが戸田さんのブックデザインの魅力を紹介し、ご活動をふり返りました。

戸田ツトムさんは内田繁さんと共に第1回の桑沢賞受賞者です。桑沢デザイン塾の連続講座で講師を務めるなど、我々同窓会にも多大なるご協力をいただきました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

戸田ツトム（1951～2020）

桑沢デザイン研究所卒業後1970年代に松岡正剛氏が創刊し杉浦康平氏がデザインを担当した雑誌『遊』のデザインを手伝う。80年以降、多くの装幀・エディトリアルデザインにおいて若い読

者層の支持を得る。89年『森の書物』の刊行によりDTPの可能性をいち早く国内外に提示。そのほか、ハイビジョン映像やデジタルコンテンツの制作、新聞・雑誌のアートディレクションも多く手がける。神戸芸術工科大学教授。2008年、論文「シンボルから陰影へ グラフィックデザインにおける象徴表現への批判と諸調表現の近代史」により神戸芸術工科大学で博士（芸術工学）の学位を取得。著書に、『断層図鑑』（北宋社）、『庭園都市』（どうぶつ社）、『電子思考へ…』（日本経済新聞社）、『D-ZONE エディトリアルデザイン1975～1999』『陰影論』（青土社）など。作品展に1998年、新宿パークタワー：EPSON MAXART EXHIBITION「戸田ツトム作品展」。2000年、ギンザ・グラフィック・ギャラリー：D-ZONE 戸田ツトム展。受賞に1993年第1回桑沢賞、1985年『エリック・サティ』他により講談社出版文化賞ブックデザイン賞。

西尾健史さん 「あたらしい本のかたち」の展覧会



西尾健史さん（2部H19SD2）とアートブックレーベルDOOKSの新作「BD」の発表を記念した展覧会が、2020年10月20日～11月1日、東京・神宮前のUTRECHT / NOW IDeAで開催されました。

「BD」は木製フレームとアクリル、それに挟まれた綴じられてないさまざまな作家のページからなるもの。従来の本のように手にとりページをめくるのではなく、壁面にページを飾って眺める「あた

らしい本のかたち」をコンセプトにしたプロダクトで、会場では実際にページを選べるように展示が行われました。また、西尾健史さんデザインによる新作ブックワゴン「mini TAKESHI」も展示販売されました。



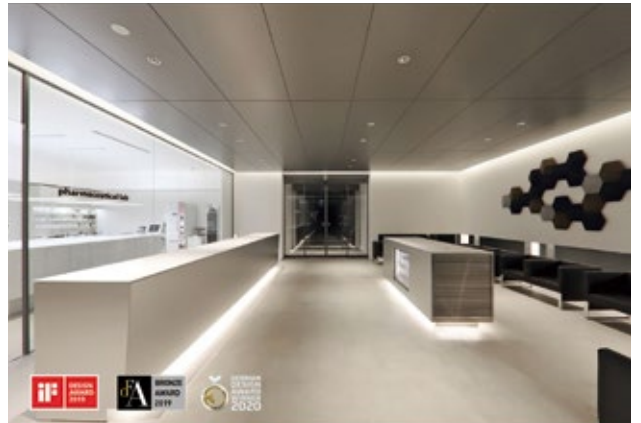
浦田孝典さんのプロジェクトが 国際的に権威あるデザイン賞を受賞



浦田孝典さん（1部H07L2Cイ住）がデザインを手がけた「Aqua Pharmacy」（日本語名：アクア調剤薬局）（2018年名古屋北区に完成）が、国際的に権威あるデザイン賞「German Design award 2020 優秀賞」を受賞しました。

「病に苦しむ人々にとって快適で前向きな気持ちになれる場所になることを願い」コンセプトは「薬箱」。誰もが思い描く救急箱をイメージした、すべて無垢な壁面で覆われた四角い箱形状の美しい外観。内部は患者の気持ちを考え、壁により外からのプライバシーを確保しつつ、建物下部には日本の雪見障子から発想を得た、透明ガラスにて適度な開放感を実現。閉塞感の無い室内になっています。

「Aqua Pharmacy」は、2019年に世界最高峰のデザイン賞 iF DESIGN AWARDS 2019（ドイツ）「DFA Design for Asia Awards 2019（アジアデザイン賞）Bronze Award」も受賞しており、今回の受賞で国際的に権威あるデザイン賞を3冠獲得となりました。



山中将司さん A'Design Award & Competition にて銀賞受賞

山中将司さん（1部H29PD2）がデザインした照明器具「Frutta」がイタリアの国際デザイン賞【A'Design Award & Competition】にて銀賞を受賞しました。

「Frutta」はフルーツを木から挽ぎ取るように、ライトボールを外して床や棚に置くなど、フレキシブルに使える照明器具。果物狩りからインスピレーションを得てデザインされたそうです。



澤田昂之介さん／南澤詩音さん 「第4回サンゲツ壁紙デザインアワード」審査員賞受賞

澤田昂之介さん（1部 H27SD3E）と在学生の南澤詩音さん（2部 VD1B）のグループが『第4回サンゲツ壁紙デザインアワード』にて、420点の応募作品から、一次審査を見事通過。ファイナリスト12作品のうちに2点が選出され、うち1点が審査員賞（植原賞）を受賞しました。

受賞作品『karanuri』は伝統

工芸品の津軽塗と土壁の磨耗の共通点からの着想と、繊細且つ挑戦的なグラフィックが評価されました。

もう一点の作品『たゆら』も受賞は逃したものの安東陽子審査員から高く評価されました。

専攻も異なる在学生と卒業生が手を組むことで、横断的にデザインアプローチできたことが今回の結果に繋がったのではないのでしょうか。



三枝守仁さん／菅野秀さん 「2020年度グッドデザイン大賞」受賞



世界初の「持ち運べる水再生処理プラント」

株式会社346創業者の三枝守仁さんと菅野秀さん（共に2部 H22PD2D）が、「2020年度グッドデザイン大賞」を受賞しました。

受賞作品 WOTA BOX は、世界初の「持ち運べる水再生処理プラント」。生活排水を98%以上再利用し、上下水道いらずの水利用を可能にします。災害が起きてライフラインが途絶えても、発電機やモバイル通信機を使って生活に必要な機能を回復するように、断水していても、気持ちの良いシャワーを浴びることができれば、避難所生活の苦痛が少しやわらぐのではないかと考え企画・開発したとのこと。

「シブヤフォント」が「ソーシャルプロダクツ・アワード」大賞と「IAUD 国際デザイン賞」金賞をW受賞

障がいのある人の文字・絵をフォントやパターンにする「シブヤフォント」が、2019年度のグッドデザイン賞受賞に引き続き、「ソーシャルプロダクツ・アワード2021」大賞と「IAUD 国際デザイン賞2020」金賞を受賞しました。

渋谷区内で暮らし・はたらく障がいのある人が描いた文字や絵を使って、桑沢デザイン研究所の学生がフォントやパターンデータを制作（2020年11月時点200種以上）。それらを渋谷区公認のパブリックデータ「シブヤフォント」とし、誰でも利用できるよう公式サイトで公開しています。また、「シブヤフォント」を採用した商品も販売し、売上の一部を渋谷区内の障がい者支援事業所に還元しています。“共に制作する”“気軽に使える”“商品に採用する”という誰でも参加できるデー



タの特性を活かして、渋谷区のダイバーシティ&インクルージョンの理念を広げています。

URL： www.shibuyafont.jp

桑沢のある街「渋谷」と「原宿」のいま

桑沢デザイン研究所のある街といえば「渋谷」。このところの再開発により渋谷が大きく変わったのには驚くばかりです。コロナ禍でなかなか街中に出不来ない皆さんに代わり「原宿」を含めて写真ルポをお届けします。

■ 渋谷のいま

いま、渋谷は「100年に1度」と言われる大規模な再開発プロジェクトが進行中。2012年に「渋谷ヒカリエ」が誕生した時は、渋谷が大人の街に変わろうとしているな...と感じたものです。続いて「渋谷キャスト」「渋谷ストリーム」など、ニョキニョキと建設された高層ビル群は、どれも若者たちの居場所を避けるように誕生。まるで『スクランブル交差点周辺はどうぞそのままキミたちの遊び場に。それ以外はお洒落でカッコいい大人の街にしますよ。』とビル群が若者たちに言っているかのようにも見えます。

2019年11月には「渋谷スクランブルスクエア」が、地上47階地下7階からなる渋谷で最も高いビルとして誕生。その目玉は45階から屋上にかけて作られた展望施設「SHIBUYA SKY」。地上約230メートルの日本最大級のオープンエアで、ここから見下ろすスクランブル交差点は、もはやジオラマの世界です。続

いて12月には渋谷駅西口の「旧東急プラザ渋谷」が閉館から4年8ヶ月を経て「渋谷フクラス」として復活。大人な渋谷を真正面からコンセプトにしています。

さらに、渋谷再開発ラッシュの最新スポット「レイヤード ミヤシタパーク」が、2020年夏にグランドオープン。かつての「宮下公園」が楽しい新スポットとして生まれ変わりました。この設計に参画したのが2018年第26回桑沢賞受賞のランドスケープデザイナーの団塚栄喜さん(2部63SD2)です。

■ 原宿のいま

一方、桑沢へのもうひとつのアクセス拠点「原宿」もこのところ色々変化しています。

東京都内に現存する最古の木造駅舎とされるJR原宿駅の旧駅舎が役割を終え、2020年3月に新駅舎が開業。新駅舎は1階にコンビニ、2階にカフェが入る2階建て。ガラス張りのコンコースは開放的



4. 原宿駅 5. 桑沢校舎

な雰囲気となり、新たに明治神宮側に西口が設けられました。また、原宿駅前には新スポット「ウィズ原宿」が4月にオープンし、「IKEA 原宿」をはじめ、人気のショップやレストランが入りました。

原宿駅から桑沢までの途中にある国立代々木競技場も東京オリンピック、パラリンピックを機にリニューアル工事が施され、以前より佇まいが立派になりました。このほか、公園通りにある「渋谷区役所」「渋谷公会堂」「渋谷パルコ」そして建て替え中の「NHK放送センター」など、ここ2、3年で以前の様子とは全く変わってしまいました。

コロナ禍で外出しづらい今日この頃ですが、コロナが収束したら、劇的に変わった「渋谷」「原宿」「公園通り」の見学をお勧めします。ついでに近所の雰囲気も大いに変わった桑沢校舎にもぜひお立ち寄り下さい！



1. 渋谷駅前の高層ビル（左：渋谷ヒカリエ 右：渋谷スクランブルスクエア） 2. 公園通り
3. LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）



2020年7月。コロナ禍の渋谷に MIYASHITA PARKがオープンしました。

垂直に天に向かって超高層化する渋谷駅周辺の開発とは対照的な大地に長い水平線を引くプロジェクトに私は「STARTLINE TOKYO」というコンセプトを掲げました。

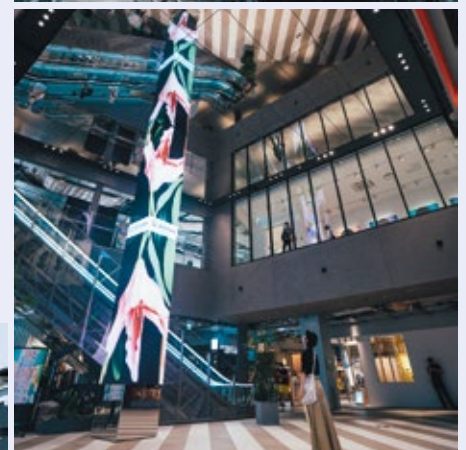
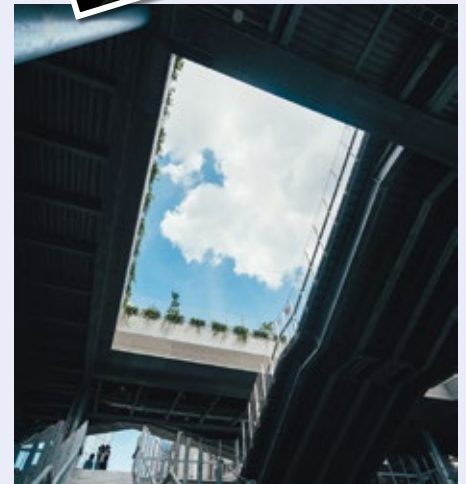
それから約5年間にわたり、建築デザイン、商環境デザイン、ランドスケープデザイン、ストリートファニチャー等々に至るまで総合的にマスターデザイナーとして関わらせていただきました。

九州の大学を辞めて、夜行列車でマジソンバッグ!を抱えて上京した右も左もわからない痩せこけた昭和の青年に「デザイン」というものをゼロから教えてくれたのは紛れも無くこの街『渋谷』でした。

コンクリート暗渠の渋谷川の真上に位置する MIYASHITA PARK は都市の隙間のインフラストラクチャーよろしく、敢えて仕上げ過ぎずに鉄骨やコンクリート下地の様に無骨に作りました。そして、ここを仕上げていくのは未だ一寸先も見えない時代の流れや人の流れだと思っています。

皆さま、渋谷にお越しの際はふらっと散歩がてらお立ち寄りください。その際は、バッグにはグラフィティ用の缶スプレーとポケットにはステッカーを忍ばせるのを忘れなく（笑笑）。

風景司 団塚栄喜



団塚栄喜 (2部 63 SD2)

1963年大分県生まれ。桑沢デザイン研究所卒業後、モノ派の現代美術家・関根伸夫氏に師事。1999年にアースケイプ設立。国内外の大型施設のランドスケープデザインを数多く手がける。

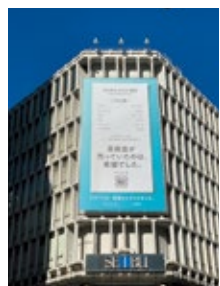
コロナ禍ゆえの活動

2020年、新型コロナウイルス感染症の影響により、世界規模の行動制限が続くなか、人々の行動や生活スタイルは大きく変化しました。また、コロナ禍だからこそ、生まれたアイデアやデザインもあります。

この特集では、ウィズコロナの状況におけるデザインや働き方を模索する同窓生の活動に注目します。

上島史朗さん 百貨店広告 「レシートは、希望のリストになった。」

2021年初頭、百貨店のある広告が注目を集めました。「レシートは、希望のリストになった。」というキャッチコピーと共に写し出されているのは、2020年のコロナ禍でお客様が購入された商品名とその数が記載されたレシート。旅行



できる日のためのスーツケース、夏祭りのための浴衣が表す季節行事の準備、新しい命の

誕生を祝福するベビーギフトなど、レシートに並んだ商品の向こうに、明日に希望を持って生きようとする一人ひとりの姿が見えます。「百貨店が売っていたのは希望でした。」という言葉で終わるこの広告は、新聞への掲載だけでなく、特設サイトでも公開され、SNSでも話題になりました。

この広告を作ったチームの一人に、上島史朗さん（2部H12VD2B）がいます。上島さんは、アートディレクター・コピーライターとして活躍され、これまでも心に響く広告を数多く手がけています。



吉岡徳仁さんが『医療従事者用フェイスシールド』を考案 テンプレートを公開

2020年4月、医療物資が不足するなか、いち早く動いたのは吉岡徳仁さん（1部62L研ID）。非常時に簡単に作成できるフェイスシールド「Easy-to-make FACE SHIELD」を考案し、テンプレートを無料で公開しました。

このフェイスシールドは、新型コロナウイルス感染症の現場で日々闘う医療従事

者向けに考案されたもので、テンプレートをダウンロードして紙にプリント後、透明シートに重ねてハサミで切り取り、メガネフレームに装着するだけで、簡単に作ることができるデザイン。テンプレートには日本語・英語で説明が併記されており、言語を問わず利用可能です。

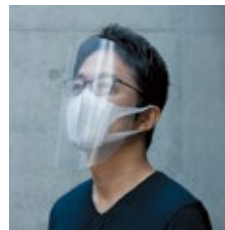
吉岡さんは公式 Web サイトで、「感

染症の現場で闘う医療従事者の

方々へ、心から感謝と敬意を表します。少しでも医療従事者の方々のお役に立つことができれば幸いです。」とコメントしています。

テンプレートを無料でダウンロードできるほか、作り方の紹介動画を見ることができる。

URL: www.tokujin.com/



折形デザイン研究所が『半紙で折るマスク』を考案

2020年4月緊急事態宣言下、日本全国でマスクが不足するなか、山口信博さん（1部48L1B）が主宰する折形デザイン研究所が「半紙で折るマスク」を考案し、作り方の動画を SNS で公開しました。誰でも半紙1枚で簡単に出来るように考えられており、出来上がった形も立体的で

美しいマスクです。

山口さんは SNS で「毎朝、薬局の前でマスクを買い求める方々の行列をみて私達にもなにかできることはないかと考えました。」とコメントしています。

作り方の動画が見られます

URL: origata.com/activity/works_000564.php



感染症対策をデザインする展覧会が東京と大阪で開催!

2020年10月、感染症対策品をデザインする展覧会「NEW NORMAL, NEW STANDARD- 感染症対策のデザイン展 -」が、東京と大阪の2カ所のギャラリー*1で開催されました。同展では、デザイナーとものづくり企業が手を組み、パーテーションやフェイスガードなどのプロダクトや空間が提案されました。参加



デザイナーは6名*2（うち4名が桑沢デザイン研究所の卒業生）。荒川技研工業株式会社と株式会社 DOUBLE-H の協力のもと、デザインされた感染症対策品の提案が行われました。コロナ禍、商業施設や店舗で“目に見える”感染症対策が必要不可欠となるなか、この対策を単

に仮設的なものとして処理するのではなく、より積極的にデザインすることで空間やプロダクトをより魅力的に見せたいという考えのもと、様々なアイデアが提案され、ウィズコロナだけでなくアフターコロナにも生かせるデザインのヒントが発信されました。

URL : newnormalnew.com/ *1 東京 : TIERS GALLERY、大阪 : Page Gallery

*2 浦田孝典 (1部 H07L2C イ住)、中込明、江口海里、西尾健史 (2部 H19SD2)、イトウケンジ (2部 H18PD2)、土井智喜 (2部 H19SD2)

伊勢市クリエイターズワーケーションに参加して

森井ユカ (1部 60L2A) 立体造形家、キャラクターデザイナー、雑貨コレクター

三重県伊勢市が主催する『伊勢市クリエイターズ・ワーケーション事業』に選出され、2020年12月の2週間、現地に滞在しました。「ワーケーション」とは、「ワーク」に「バケーション」をプラスした新しい造語で、「休暇に乗じてどこかに行き、リモートワークする」というスタイルです。伊勢市が地元の宿泊施設を援助することが目的で、それならば全国

からクリエイターを募集して滞在してもらい、伊勢の魅力を発信してもらおうという企画でした。

私は全国47都道府県のいわゆる「ご当地スーパー」を研究しているということで、伊勢ならではの食品をスーパーで探し、SNSで発信したりテレビ番組で紹介することになりました。地元の人は当たり前に感じている、海草の「あらめ」、カマボコとはんぺんの中のような「はんぺい」、マグロのづけを使う「てこね寿司」、それに伊勢うどん。どれも絶品でした。また「あらめ」を現地ではお茶漬けにして食べるということもユニークな発見でした。



ご当地スーパーの取材の合間には伊勢神宮にも出かけ、内宮でも最も重要な祭事のひとつである『月次祭(つきなみさい)』で奉幣の儀を見ることができました。これは皇室より送られた幣帛(へいはく)を奉納するもので、朝早く、あるいは深夜に厳かに行われるものです。

伊勢市のみなさんや、同じ事業に参加したクリエイターたちと、かけがえのない時間を過ごすことができました。ぜひ全国でも同じような取り組みが始まるよう、期待しています。

倉俣史朗展 Shiro Kuramata Cahier 刊行記念

2020年11月16日～28日、銀座・ギャラリーせいほうにて、倉俣史朗さん（1部31LA/1991年に逝去）が遺したスケッチのシルクスクリーン作品集「倉俣史朗 Shiro Kuramata Cahier」刊行の記念展が開催されました。

会場では代表作 Miss Blanche や、Cabinet、アクリルの Flower Vase などのリアルな作品とその原点となったアイデアスケッチ（シルクスクリーン）の展示がありました。軽妙に描かれたスケッチからは、いかに楽しんでメーヅを膨らませていたかが窺えます。

没後30年、時を経てもなお、あのバラのチェアとスケッチは圧倒的な輝きを放っていました。



「ギャラリーせいほう」のブログでシルクスクリーン作品が紹介されています。
URL: ameblo.jp/seiho-g/entry-12638328015.html

桑沢デザイン研究所と深い関係のある写真家 石元泰博 生誕100年 3つの写真展開催

写真家の石元泰博氏の生誕100年を記念し、東京都写真美術館、東京オペラシティ アートギャラリー、高知県立美術館の共同企画で展覧会が開催され、石元氏の多彩な仕事が過去最大のスケールで詳らかにされました。

国際的に高い評価を得た写真家 石元氏は、桑沢デザイン研究所の創立から71年まで教授を務め、桑沢の教育理念に深く関わりを持った方でもあります。

石元泰博 (1921-2012)

米サンフランシスコ生まれ、3歳で両親の故郷・高知に。1945年にシカゴに移り、ドイツの造形学校バウハウスの流れをくむ学校で正統派のモダニズム写真を学んだ。53年に再び日本へ。社会派の写真が中心だった日本で、高度な造形性を備えた作風が大きな衝撃を与えた。シカゴや東京の都市風景、空や水面の写真のほか、桂離宮や曼荼羅（まんだら）など日本的、東洋的な題材も多く手がけたが、情緒を排した表現を貫いた。著書に「シカゴ、シカゴ」「桂離宮」など。紫綬褒章、勲四等旭日小綬章などを受章し、文化功労者にも選ばれた。桑沢デザイン研究所のほか、東京造形大の教授も務めた。第4回（1996年）桑沢特別賞受賞。



東京都写真美術館：
2020年9月29日-11月23日
東京オペラシティ アートギャラリー：
2020年10月10日-12月20日
高知県立美術館：
2021年1月16日-3月14日



※写真家・石元泰博と出会い、関わり、共鳴したさまざまな人々が、『石元泰博－写真という思考』著者、森山明子氏（武蔵野美術大学教授）と語らう動画6本が公開されています。ぜひご覧いただき、石元氏の仕事、人生、その魅力を存分にお楽しみください。

URL: www.operacity.jp/ag/exh234/f/movie.php

北海道支部長インタビュー

尾形優子さん 北海道で自然にやさしいハチミツづくり

東京生まれ神奈川育ち。24年ほど前に北海道に移住しました。来た当初は札幌で設計事務所を立ち上げ、建築設計を仕事にしていたのですが、今はミツバチを飼い、ハチミツやミツロウを商品化して販売しています。

北海道で暮らし建築に携わる中で、自然環境や食の安全、健康、農とくらし…という諸々をつらつらと考え、一つの答えとしての養蜂にたどり着きました。蜜源となるハーブを育て、農薬の影響を受けない環境でミツバチのストレスを極力減らし、抗生物質や防ダニ剤などの薬剤を投与しない養蜂を実践。採れたハチミツを

La table verte (仏語でみどりのテーブル) という名でネット通販中心に販売しています。

「ハチミツという農産物と我々の思いをどのように消費者に届けるか?」という課題に、桑沢で学んできたこと、建築の仕事で経験してきたことが自然と役に立っているように思います。販売を始めたのは10年ほど前からですが、その頃のハチミツといえば大きな文字で「はちみつ」と書かれたラベル、丸くボテとした瓶かポリボトルが一般的でした。それに対し四角い瓶や細長い瓶、小さなラベル。ハチミツと理解してもらうのに時間はかかりま



右：尾形優子さん（1部58L2Cイ住）
左：養蜂家のご主人

したが、今では一目でLa table verteのハチミツだとわかるアイコンとなっています。

HPと通販サイトを作って積極的に理念や背景なども発信してきました。養蜂業としてはかなり先駆け。PCを前に結構な苦勞をしながら作りあげ、運営してきました。未だに下手ですが、まあ片手間だから仕方がない（笑）。最近では、養蜂もちょっとしたブームで若い養蜂家たちが頑張っていて、ハチミツもお洒落なデザインが増えてきたように思います。

最近、同級生に依頼してwebサイトを一新しようと計画中。少しばかり異端の道を歩いてきた私としては、同級生と一緒に仕事をする楽しさを初めて味わっています。桑沢は素晴らしいですね！



左側「季節の恵みをそのまま 北海道GreenHoney」、右側「アーユルヴェーダハチミツ Jayanand madhu」



蜜源ハーブのHoney Herb Garden

La table verte URL: www.la-table-vert.com/

JDNで同窓会が紹介されました！

特集記事：世代を超えてつながり合う、桑沢デザイン研究所「同窓会」の絆

デザイン情報サイトJDN（ジャパン・デザイン・ネット）に、インタビュー記事「世代を超えてつながり合う、桑沢デザイン研究所「同窓会」の絆」が公開されました。（2021年01月25日掲載）

同窓会会長 八十島博明さん（1部59L研GD）と森井ユカさん（1部60L2A）がJDNのインタビューに答え、在学時代の様子や同窓会活動について、桑沢賞の意義、社会にでてからの桑沢ならではのつながりなどについて語っています。

URL: www.japandesign.ne.jp/interview/kuwasawa-dosokai/



出版のお知らせ



「OKUDAIRA BASE
自分を楽しむ衣食住」
奥平眞司 (2部H30SD2)
誠文堂新光社
定価: 1,540円 (税込)



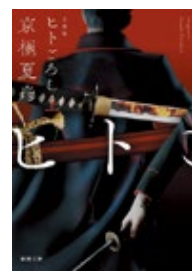
「ひのたまのりの
またのひ」
伊藤文人 (1部48L3GD)
みらいパブリッシング
定価: 1,400円 (税別)



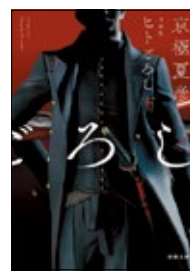
「今夜 凶暴だから わたし」
演愛子 (2部H15VD2A)
ちいさいミシマ社
定価: 2,400円 (税別)



「写真家 秋山実による
降幡廣信の世界」
秋山実 (1部36L3写真)
建築資料研究社
定価: 4,500円 (税別)



「ヒトごろし」上
京極夏彦 (1部57L2B)
新潮社文庫
定価: 1,210円 (税込)



「ヒトごろし」下
京極夏彦 (1部57L2B)
新潮社文庫
定価: 1,210円 (税込)



「ふるいけやの呪縛
一さかさま研究所の
脳内地図」
伊藤文人 (1部48L3GD)
みらいパブリッシング
定価: 1,650円 (税込)



新版「日本村」
1960-2020
山田脩二 (1部34L研A)
平凡社
定価: 12,000円 (税別)



「五味太郎 日本のこころ」
／別冊太陽
五味太郎 (2部42PDID)
平凡社
定価: 2,640円 (税込)



「もみのき そのみを
かざりなさい」
五味太郎 (2部42PDID)
アノニマ・スタジオ
定価: 1,650円 (税込)



「ユリイカ 2021年
1月臨時増刊号 総特集◎
戸田ツトム
ー1951-2020ー」
戸田ツトム (1部48L3GD)
青土社
定価: 2,800円 (税別)



「とりあえず まちましよう」
五味太郎 (2部42PDID)
絵本館
定価: 1,300円 (税別)



「とりあえず ありがとう」
五味太郎 (2部42PDID)
絵本館
定価: 1,300円 (税別)



「みんなのSDGs」
水谷孝次&MERRY
PROJECT (2部50GD2)
リベラル社
定価: 1,200円 (税別)



「しょうがの料理」
有元葉子 (1部37L2P)
東京書籍
定価: 1,670円 (税込)



「大好きな野菜
大好きな料理」
有元葉子 (1部37L2P)
筑摩書房
定価: 924円 (税込)



「この2皿さえあれば。
私が食べたい季節の味」
有元葉子 (1部37L2P)
集英社
定価: 1,980円 (税込)



「光るサラダ
サラダ上手になるための
26のヒント」
有元葉子 (1部37L2P)
文化出版局
定価: 1,870円 (税込)



「今さら聞けない
料理のこつ」
有元葉子 (1部37L2P)
大和書房
定価: 1,650円 (税込)



「大工のボンと
ダイダイカズラ」
ヒサナガ (1部H31SD3E)
文芸社
定価: 1,210円 (税込)



「山と獣と肉と皮」
繁延あづさ
(1部H09L2CID)
亜紀書房
定価: 1,600円 (税別)



「まだまだ まだまだ」
五味太郎 (2部42PDID)
偕成社
定価: 1,200円 (税別)



「茶の湯のトリビア」
中村 幸 (1部61L研GD)
淡交社
定価: 1,320円 (税込)

受賞のお知らせ

- 藤原光平（1部 2019PD3D）「自然のやさしさを探る AWARD」準グランプリ 対象作品：そよ風を感じる風車
- 加瀬透（2部 H22VD 2B）年鑑『Graphic Design in Japan 2021』JAGDA 新人賞受賞 対象作品：「Okada Takuro + duenn『都市計画（Urban Planning）』」
- 谷口敦紀／守本 悠一郎／ますだ すみれ／渡辺 拓実（夜間附帯教育基礎デザイン専攻）「自然のやさしさを探る AWARD」グランプリ & アイデア賞
対象作品：波が起るキャンパス
- 田淵菜央（昼間部 VD 専攻）第 68 回 朝日広告賞 学生奨励賞 対象作品：ふりかけの代名詞「のりたま」
- 朱イセン（昼間部 VD 専攻）第 68 回 朝日広告賞 学生奨励賞 対象作品：「新潮文庫」新しい読書体験の提案
- 南澤詩音／澤田昂之介（1部 H27SD3E）第 4 回サンゲツ壁紙デザインワード 審査員賞（植原賞）受賞 対象作品：karanuri
- 三枝守仁／菅野秀（2部 H22PD2D）2020 年度グッドデザイン賞 グッドデザイン大賞 対象作品：WOTA BOX
- 豊田亮（2部 H13SD2）京都府主催 第 4 回 Woody コンテスト 木製家具部門 入選 対象作品：わの椅子
- カワタアキナ（2部 H24VD2B）第 6 回 東京装画賞 一般部門 金賞
- 松本沙希（2部 H19VD2A）第 6 回 東京装画賞 一般部門 入賞
- 太田さくら（2019 年応募時昼間部 VD 専攻在学／1部 2019VD3A）第 6 回 東京装画賞 学生部門 協賛企業賞
- きしあやこ（1部 H06L2A）あいち国際女性映画祭 2020 アニメーション部門 グランプリ【アニメーション部門】 対象作品：『ペン＆マジック』
- 前奈津美（昼間部 VD 専攻在学）第 11 回 パンフー学生 T シャツデザインコンテスト審査員賞
- 袁浩（昼間部 VD 専攻在学）第 11 回 パンフー学生 T シャツデザインコンテスト佳作
- 山中将司（2部 H29PD2）A' Design Award & Competition 銀賞 対象作品：Frutta
- 佐々木苑子（2部 38VDB）第 67 回日本伝統工芸展 入選 対象作品：紬織帯「野分け晴」
- 柿崎えま（2部 63VD2A）ギャラリーハウス Maya 装画コンペ vol.20 グランプリ 対象作品：ロリータ
- 中村亜香里（デザイン専攻科 スペースデザインコース 2 年 在学）第 21 回 CS デザイン賞学生部門 入選 対象作品：beyond 35
- 久保多佳子（2部 61VD2B）「グルメン世界料理本大賞 2020」デザイン部門 グランプリ
- 中村桃子（1部 H24VD3A）HB GALLERY：主催『HB WORK Competition vol.1』特別賞
- マナベレオ（2部 H29VD2B）HB GALLERY：主催『HB WORK Competition vol.1』大賞：川名潤賞
- 出口えり（2部 H28VD2A）玄光社『イラストレーション』誌：主催 第 37 回ザ・チョイス年度賞大賞
- 大谷陽一郎（2部 H26VD2A）NONIO ART WAVE AWARD 2020 グラフィック・イラストレーション部門 グランプリ 対象作品：雨
- 松廣未奈（1部 H10L 研 ID）iF DESIGN AWARD 2020 対象作品：Origami Art Drink Package
- 浦田孝典（1部 H17L2C イ住）iF DESIGN AWARD 2020 ARAKAWAGRIP MUSEUM
- 伊藤文人（1部 48L3GD）全日本交通安全協会、毎日新聞社：主催 令和 3 年度交通安全ポスターデザインコンクール 一般部門 A 内閣総理大臣賞
- 花島平（1部 49L3ID）第 71 回モダンアート展 優秀賞 対象作品：白と黒のエチュード

2020 年からの個展・エキシビジョン MEMO ●同窓会に連絡があったもののみ掲載いたしました。ご協力ありがとうございました。次回のニュースでもお待ちしております。

「かたちときもち 吉の毎日」展	3月13日～10月11日	東京・銀座 ATELIER MUJI GINZA Gallery2	山口信博（1部 48 L1B）ほか
たのしいグループ展「ニューコンポジション 2」	4月3日～12日	WEB（ウェブ）開催	倉田鏡榮（1部 62D2B）ほか
出口えり個展「隙間から見てる」	5月22日～27日	東京・神宮前 HB gallery	出口えり（1部 H27VD3A）
中村桃子個展「Body」	6月23日～28日	東京・神宮前 ギャラリー・ルモンド	中村桃子（1部 H24VD3A）
安齋肇「えとえのえほん展～ハロルドコミックス危機一髪～」	7月11日～9月13日	茨城・筑西市 しもだて美術館	安齋肇（1部 49L2B）、スチャダラパー他
生平桜子展「EXISTENCE/ABSENCE」	7月18日～26日	神奈川・葉山町一色 ブックショップ カスパール	生平桜子（1部 H26VD3C）
私の針仕事展	8月6日～14日	東京・池袋 西武池袋本店 7 階催事場	出本正彦（1部 44D3B）他
Jessie Solo Exhibition “はろー はろー”	8月6日～16日	東京・渋谷区神南 HAUS STUDIO	Jessie（総合デザイン科ビジュアルデザイン専攻 卒）
「祈りの花瓶展 2020 -ナガサキを忘れない-」	8月8日～8月23日	神奈川・川崎 ブックカフェ & ギャラリー COYAMA	毎熊那々恵（1部 H27VD3A） +Vase to Pray Project
ロンドン・パリ 二都物語	8月18日～23日	福岡・箱崎 ブックスキューブリック箱崎店ギャラリー	野田博生（2部 56VD1A）
hima//KAWAGOE LAST EXHIBITION	8月21日～9月2日	東京・新宿 新宿眼科画廊	川越希希（2部 H23VD2A）
ニシイズミユカ個展「君と花」	8月26日～30日	東京・渋谷区神宮前 YEAST	ニシイズミユカ（1部 H25FD3F）
JTCW2020 丸亀うちわ × 林青那	9月4日～17日	東京・中目黒 dessin デッサン	林青那（1部 H21VD3B）
生平桜子展 “ Journal de Paris ”	9月4日～10月5日	東京・自由が丘 IDÉE SHOP 自由が丘 3F GALLERY AND BOOKS	生平桜子（1部 H26VD3C）
古武家賢太郎「The Other Side of Hope / その向こう側へ」	9月4日～10月3日	東京・渋谷区神宮前 MAHO KUBOTA GALLERY	古武家賢太郎（1部 H09L 研 GD）
オノデラユキ「FROM Where」	9月8日～11月29日	東京・銀座 ザ・ギンザスペース	オノデラユキ（1部 58D 研 A）
Mombasa, Nakuru -2019 in Kenya	9月17日～28日	東京・西新宿 RICOH IMAGING SQUARE TOKYO	西優紀美（2部 H28PD2）
handkerchief 展	9月20日～10月18日	千葉県・柏市 カフェカルディー	林由実子（2部 H05VD2B）
生誕 100 年石元泰博写真展「生命体としての都市」	9月29日～11月23日	東京・恵比寿 東京都写真美術館	石元泰博（1996・第 4 回桑沢特別賞受賞）
草野 庸子写真展「雲を掴む」	10月1日～17日	東京・世田谷北沢 CANDLE CAFE Δ II	草野庸子（1部 H26VD3C）
Abstraction- 抽象 -	10月5日～10日	東京・銀座 GALLERY ARTPOINT	野田博生（2部 56 VD1A）ほか
「NEW NORMAL, NEW STANDARD -感染症対策のデザイン展-」	10月6日～10日	東京・表参道 TIERS GALLERY	西尾健史（2部 H19SD2）ほか
石元泰博写真展「伝統と近代」	10月10日～12月20日	東京・新宿 東京オペラシティ アートギャラリー	石元泰博（1996・第 4 回桑沢特別賞受賞）
手島 加江「やさしい草花」	10月19日～24日	東京・南青山 スペースユイ	手島加江（1部 54L 研 PK）
西尾健史 + DOOKS「BD」	10月20日～11月1日	東京・神宮前 ユトレヒト	西尾健史（2部 H19SD2）ほか
北海道の精鋭作家展	10月22日～28日	広島・福屋広島駅前店 6 階ギャラリークリエイト	鈴木啓示（1部 H23VD3B）ほか
Best Artists Exhibition 15th	10月28日～11月2日	東京・銀座 ミレージャギャラリー	原由美子（1部 43L3PK）ほか
「卒業生作品展 桑沢 2020 × シブセイ デザインは死なない。New 羅針盤」	11月3日～23日	東京・渋谷 西武百貨店渋谷店 A 館 1 階～4 階、 B 館 7 階のプロモーションスペースほか	2019 年度桑沢卒業生 35 名（監修＝浅葉己前所長）

「HIGH HEELS」	11月10日～15日	東京・神宮前 ギャラリールモンド	藤岡詩織 (1部 H21VD3C)
「with my buddy」	11月14日～23日	東京・世田谷 by_and_by_tokyo	ニシズミユカ (1部 H25FD3F)
倉俣史朗展 —Shiro Kuramata Cahier 刊行記念展	11月16日～28日	東京・銀座 銀座ギャラリーせいほう	倉俣史朗 (1部 31LA)
第6回 東京装画賞展	11月19日～12月1日	東京・池袋 ギャラリー路草	カワタアキナ (2部 H24VD2B) ほか
戸田ツトムのブックデザイン展	11月21・22・28・29日、 12月5・6日	東京・浅草 Book&Design	戸田ツトム (1部 48L3GD)
POPWORKS 10th グループ展	12月3日～13日	群馬・板倉町 わたらせ自然館	倉田鏡榮 (1部 62D2B) ほか
PAOS50 年成果展	12月3日～14日	台湾・台北市 東方設計大学	中西元男 (1部 34L 研 A)
手から生まれたポケモンたち ～森井ユカのクレイアート～	12月11日～2月5日	東京・千代田区 小学館本社ビル 1F エントランスホール	森井ユカ (1部 60L2A)
新版「日本村」1960-2020 写真展	12月11日～1月24日	東京・東神田 kanzan gallery	山田脩二 (1部 34L 研 A)
カワタアキナ個展『間にあるもの』	12月11日～16日	東京・神宮前 HB ギャラリー	カワタアキナ (2部 H24VD2B)
林 ゆみこ イラストレーション “knick knack 展”	12月19日～24日	千葉・柏市 柏 buckle berry books	林ゆみこ (1部 H05L 研 PK)
長坂大山 游刻展 4	2021年1月6日～12日	東京・新宿 柿傳ギャラリー	ビショップ康史 (1部 48L3ID)
生誕 100 年石元泰博写真展	1月16日～3月14日	高知県・高知市 高知県立美術館	石元泰博 (1996・第4回桑沢特別賞受賞)
「アネケ・ヒーマン&クミ・ヒロイ、潮田 登久子、 片山 真理、春木 麻衣子、細倉 真弓、 そして、あなたの視点」	1月16日～4月18日	東京・銀座 資生堂ギャラリー	潮田登久子 (1部 38L3 写真) ほか
今井雅洋 個展「雲居」	2月9日～14日	東京・小伝馬町 JINEN GALLERY	今井雅洋 (1部 48L3GD)
ニシズミユカ 個展「Present for me」	2月10日～16日	東京・日本橋 日本橋三越本店 3階 ミグジュアリー	ニシズミユカ (1部 H25FD3F)
オンライン・デザインワークショップ「G8 CLUB」	2月27日・3月13日	東京・銀座 クリエイションギャラリー G8	高田唯 (2部 H14VD2A) ほか
Domain of Art 26 中島崇展 Void / Valve / Volum	2月27日～3月21日	埼玉・さいたま市 プラザノースギャラリー	中島崇 (1部 H05L 研写真)
金原京子展「花ー Re・born アート」	3月16日～21日	埼玉・さいたま市 プラザウエストギャラリー	金原京子 (1部 41L3GD)
bettan-chan-ten	4月1日～18日	東京・墨田区 一軒家カフェ ikkA	林ゆみこ (1部 H05L 研 PK)
第71回モダンアート展	4月2日～16日	東京・上野 東京都美術館	花島平 (1部 49L3ID)
ぼくのスケッチブック	4月5日～11日	東京・神田 ほぼ日神田ビル 1F TOBICHI 東京	田中靖夫 (1部 39 L3 写真)
野 風 衣 展	4月20日～24日	東京・銀座 銀座第7ビルギャラリー 2F	山本順子 (1部 45D2B)

■ 訃報

● 戸田ツトムさん (1部48L3GD) 2020年7月21日逝去 享年68

(13ページ記事参照)

● 金子富廣さん (1部40L3ID) 2020年4月12日逝去 享年77

1943年生まれ。インダストリアルデザイナー。1965年桑沢デザイン研究所インダストリアルデザイン科卒業。1975年 金子デザインオフィス設立。1989年 株式会社オービに社名変更。プロダクトデザインを中心に、グローバルな視点にたったデザイン開発を実施。また、桑沢デザイン研究所のプロダクトデザイン専攻金子富廣ゼミを担当、後進を育てた。JIDA会員。

受賞に、機械工業デザイン賞・経済産業大臣賞、日本産業広告協会・銀賞&特別賞、USA アニュアル・デザインレビュー '98、ドイツデザインイノベーション '91、UK インターナショナルデザイン イヤーブック '95選定など多数。

● 中山泰さん (1部43L3GD) 2020年8月28日逝去 享年73

1947年生まれ。1969年、桑沢デザイン研究所グラフィックデザイン研究科卒業。1970年、桑沢の同級生だった真鍋立彦、奥村毅正らと『Work Shop MU!! (ワークショップ ム!!)』を設立。大滝詠一作品やナイアガラレーベルを始め、はっぴいえんど、YMOなど、カッティングエッジなアーティストたちのジャケットデザインを数多く手がけた。これらの作品集が2006年に出版され、その記念展が原

宿のドゥファミリア美術館で開催。2007年、この活躍に対して桑沢デザイン・オブ・ザ・イヤー賞が贈られた。

1977年に『Work Shop MU!!』解散と同時に独立。1991年、(株)中山泰カンパニー設立。グラフィックデザイナー、イラストレーターとして活躍。2019年、「ナイアガラレーベルデザイン集」を出版した。

● 羽生道雄さん (2部31L研) 2021年1月11日逝去 享年88

1933年生まれ。デザインプロデューサー・プロダクトデザイナー。1956年桑沢の夜間部第1期生として卒業。卒業後桑沢の専任講師として初期の桑沢の教育に尽力した。1972年、モノプロ工芸株式会社・モノプロデザイナーズを設立。生活用品のデザインをトータル的に提案する一方、経営戦略、CIデザイン、中小企業におけるデザインの統合化戦略など幅広いデザイン活動のほか、東北芸術工科大学名誉教授、国連や日本政府のODA参画など多くの公職にもついた。

受賞に、毎日産業デザイン賞、グッドデザイン特別賞、「燕市の洋食器デザイン」のニューヨーク近代美術館永久保存、国井喜太郎産業工芸賞、USA シカゴインターナショナルハードウェアショー プルーリボン賞、桑沢特別賞 (2011年) など多数。著作に、暮らしのデザイン「ナイフ」、日本の近代デザイン運動史」など。

また、1988年から1989年には、桑沢デザイン研究所改革のため「明日の桑沢を考える会」の会長として多くの同窓生の英知を結集し「意見書」を作成、その内容と活動は、その後の桑沢と同窓会に強い影響を与えた。

同窓会事務局より

● 今回も同窓会ニュースの原稿を多くのみなさんよりいただきましてありがとうございました。仕事の報告、個展の案内・報告、コラム、受賞、出版情報などお知らせください。またデザイン関連以外のこと (例えば、ボランティア活動、自慢のコレクション、ショップ経営など) や若い人の活躍、地方のニュースなども大歓迎です。原稿をお待ちしております。次号 (189号) は2022年4月中旬に発行の予定です。(原稿締切2022年2月末)

● 同窓会名簿の充実のため、住所移転や同窓会ニュースの送付先変更などありま

したら必ず同窓会事務局までご連絡ください。また、Eメールのアドレスも差し支えなければお知らせください。どちらも同窓会までEメールまたはファックスにてご連絡お願いいたします。

● みなさんのお知り合いで同窓会ニュースが届いていない同窓生がおられましたら同窓会までご連絡くださいますようご協力お願いいたします。また、お亡くなりになられた同窓生に依然として同窓会からのお知らせや同窓会ニュースが届けられている場合は、ご家族の方から事務局へご一報戴ければ、配送停止の手続きをいたします。

KDS NEWS dosokai 2021 no.188 2021年5月1日発行	桑沢デザイン研究所同窓会 150-0041 東京都渋谷区神南1-4-17 TEL 03-3462-4029 FAX 03-3462-4090 ✉ info@kds-doso.net 🌐 www.kds-doso.net/ 📘 www.facebook.com/kdsdoso 📺 kuwasawadoso		発行 編集 デザイン 撮影 校閲 印刷	桑沢デザイン研究所同窓会 大槻高康 (1部49 L3GD) 田辺千晶 (1部56 L2C 住住) 赤羽なつみ (1部49L 3PK) GRID + 矢島裕丈 (1部H18 L3B) 雑賀吉人 (2部H19VD2A) / 他 本田理恵 (1部H20 VD3C) 株式会社 アトミ